CARD db Lite

カード・ディービー ライト

プログラム・マニュアル

営業所 / 札幌・東北・東京・名古屋・金沢・関西・四国・広島・九州

MEDING 株式会社 メディング

www.meding.jp
www.meding.co.jp

目　次

1. はじめに …… 3

2. CARDdbLite のインストール …… 4

3. プリンタの設定 …… 5

4. 印字フォーム設定 …… 6

5. 手入力での発行 …… 8

6. 日医標準レセプトソフトとの連動 …… 14

7. 磁気エンコード設定 …… 18

手入力・連動時
共通の設定です。

手入力時のみの
設定です。

重要！
連動設定です。

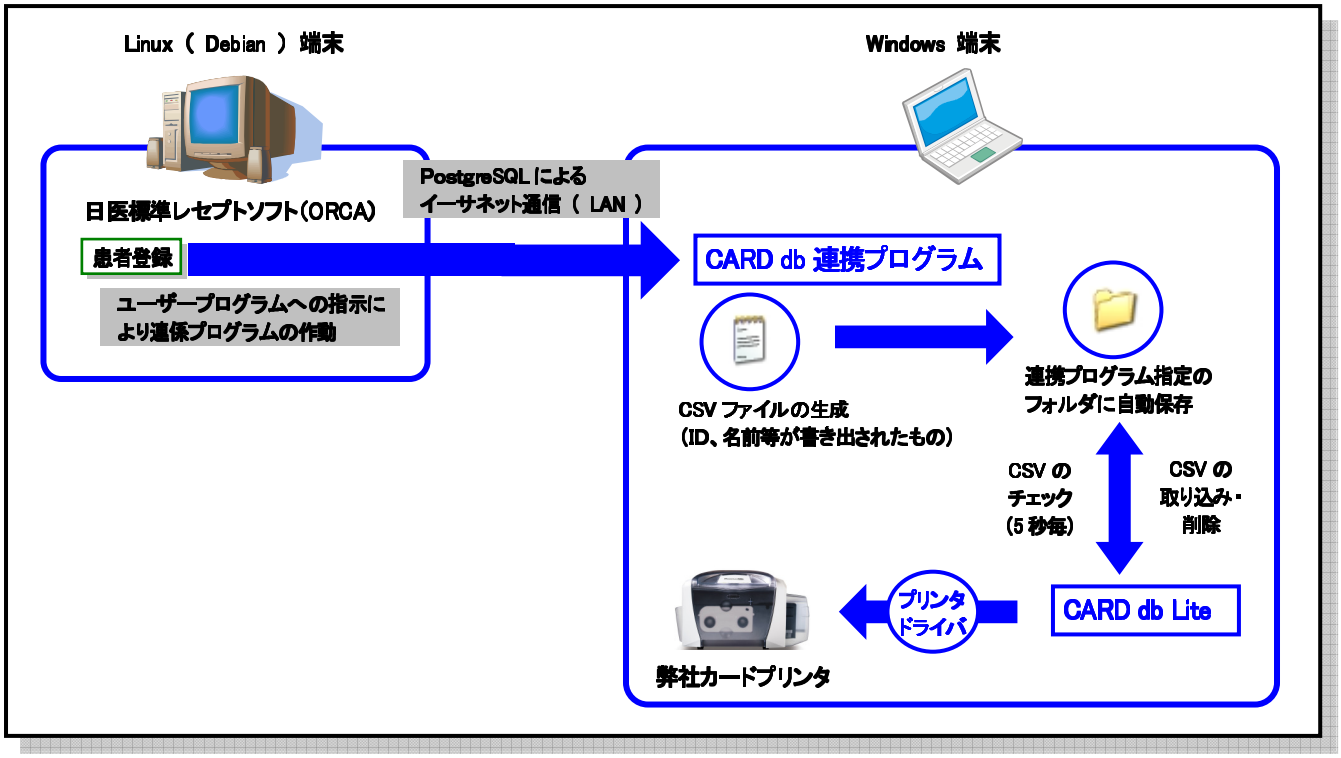
1. はじめに

CARD db Lite とは？

このたびは、窓口即時発行用ソフト **CARD db Lite** の御買い上げありがとうございます。
CARD db Lite は主に二通りの使い方がございます。

① CARDdb 連携プログラムと連動した、日医標準レセプトソフト（以下、日レセ「**オルカ**」）からの発行
② 項目の手入力による発行

① CARDdb 連携プログラムと連動による診察券発行のイメージ



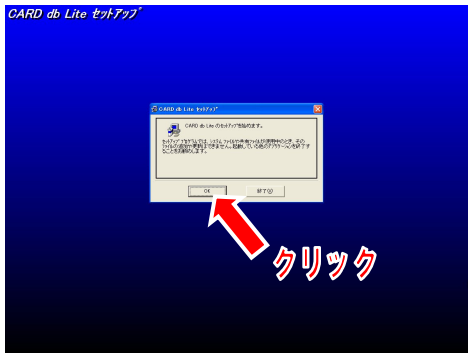
② 手入力による診察券発行のイメージ

CARDdb 連携プログラムと連動することで、日レセ「オルカ」の患者登録のみで診察券が発行できます。
連携についての仕様・詳細は「6. 日医標準レセプトソフトとの連動（P14）」をご覧下さい。

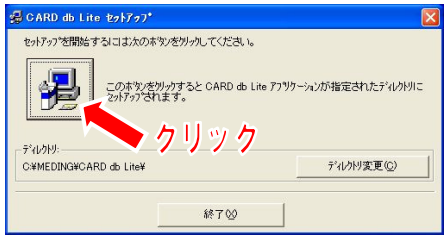
2. CARD db Lite インストール

1. セットアップCDをセットしてください。
   自動的にセットアッププログラムが起動します。
   （起動しない場合は、セットアップCDの
   “Setup.exe” を実行して下さい。）

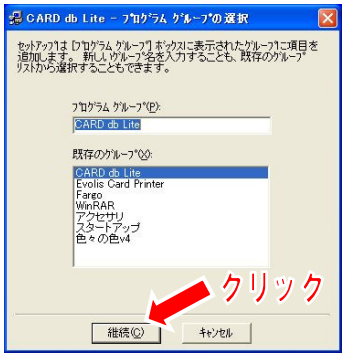
2. CARDdb セットアッププログラムが起動します。
   OK ボタンをクリックしてインストールを開始して下さい。



3. セットアップボタン（パソコン絵柄）をクリックして下さい。

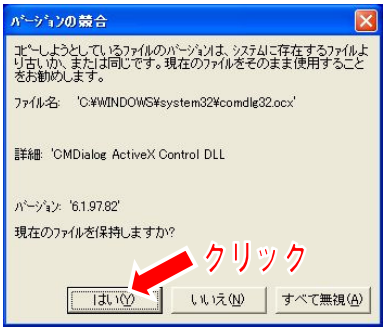


4. プログラムグループを変更する場合は
   グループを指定、または、入力して下さい。
   通常は“CARD db Lite”のままでセットアップを
   続けて下さい。



5. プログラムのセットアップが始まります。

6. プログラムのセットアップ中に「バージョンの
   競合」が表示された場合は、**全て「はい(Y)」**
   （現在のファイルを保持する）をクリックして
   セットアップを継続して下さい。

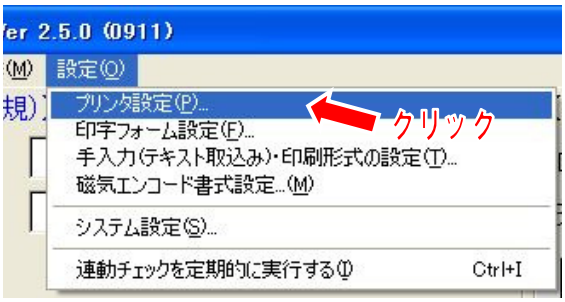


以上でインストール作業は終了です。

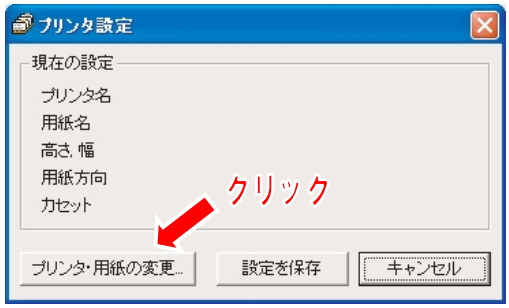
3. プリンタの設定

1. カードプリンタに付属しているドライバCDで
   プリンタドライバをインストールして下さい。
   （詳細はカードプリンタ付属のマニュアルをご覧下さい。）

2. 設定(O) → プリンタ設定(P)
   使用するプリンタを選択します。

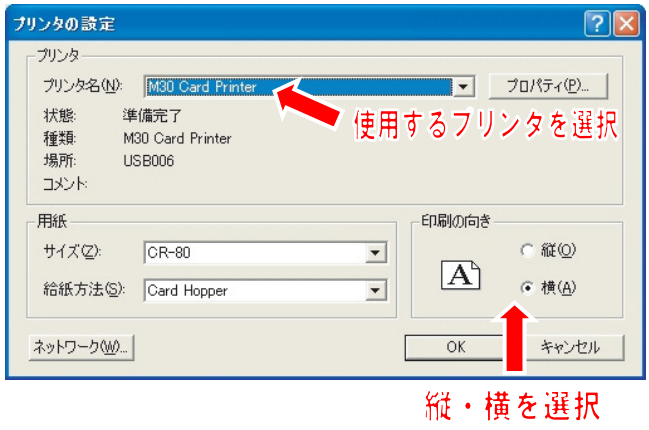


3. プリンタ ・ 用紙の変更をクリック
   して下さい。



4. 使用するプリンタを選択し、
   カードの縦 ・ 横を選択して下さい。
   選択が終わればOKをクリックして下さい。

   (リボンの種類 ・ 印字濃度 ・給紙タイプを
   設定する場合はプロパティをクリックして
   設定して下さい。)
   ※ プリンタと FAX からしか設定できない
   場合もございます。



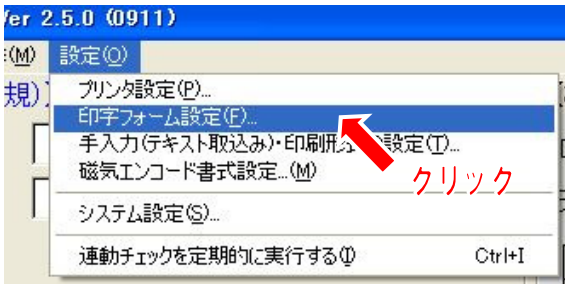
5. 設定を保存をクリックして下さい。

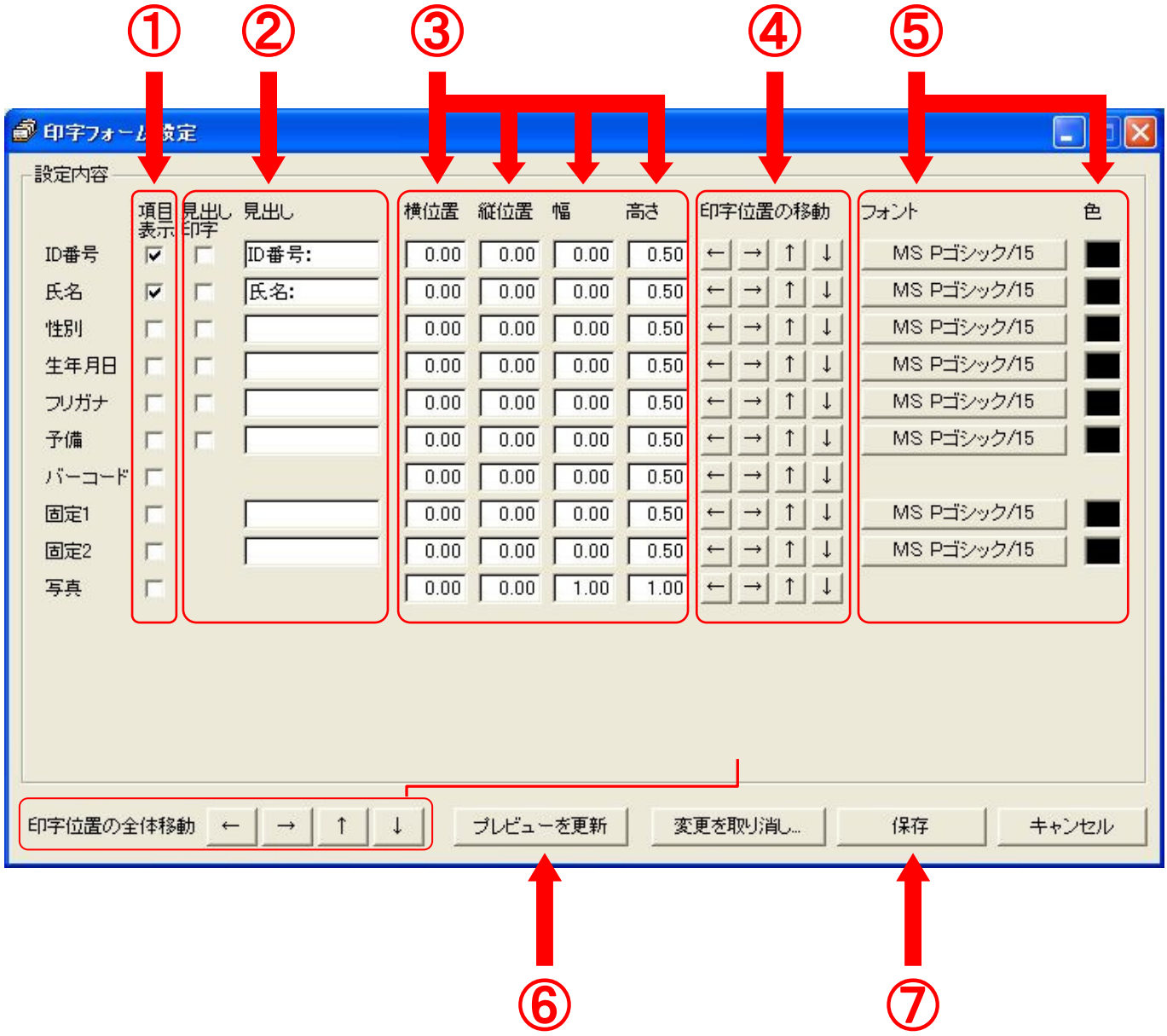
以上でプリンタの設定は完了です。

4. 印字フォーム設定

カード上に印字される項目 ・ 位置 ・ フォントの設定を行います。

設定(O) → 印字フォーム設定(P)





① 項目表示

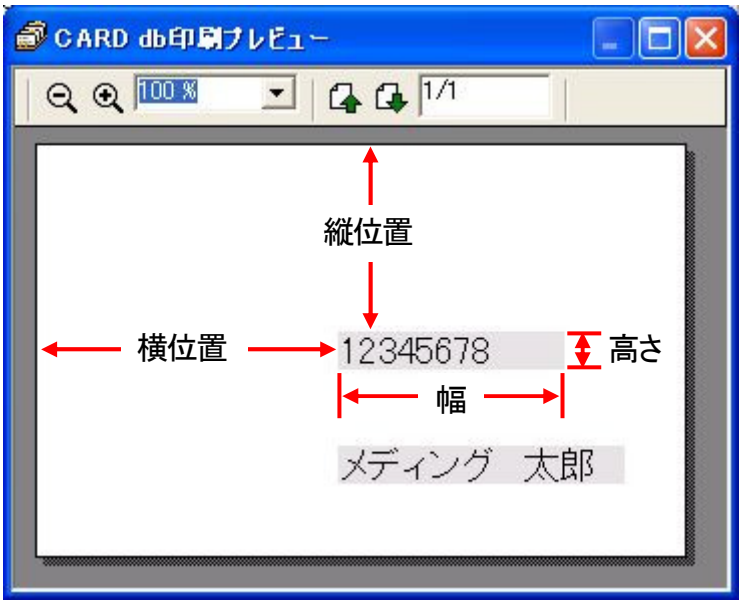
ここにチェックを入れた個別項目のみが、メインの入力画面に表示され、
入力可能となります。
※最大で 6 項目＋バーコード＋固定 2 項目＋写真(画像)＝計 9 項目指定できます。
固定項目とは、どのカードにも毎回印字される定形の文字です。

② 見出し印字

ここにチェックを入れた場合、「見出し」に入力した文字も同時に印刷されます。

③ 横位置 ・ 縦位置 ・ 幅 ・ 高さ

カードの端からその項目を
印字開始する位置と
その幅 ・ 高さを指定します。
(単位 ： cm)
フォントの大きさを変えた場合は、
幅 ・ 高さを調整してください。



④ 印字位置の移動 ・ 全体移動

各項目(全体移動の場合は
全項目)を矢印で移動させる
ことができます。位置の数値が
変わります。(2.5mm 間隔)

⑤ フォント ・ 色

項目毎に印字するフォント ・ 色の指定が出来ます。モノクロ発行の場合、色は無視されます。

⑥ プレビューを更新

イメージ表示でバランスを確認します。別ウィンドウが開きます。

⑦ 保存

設定した内容で確定します。

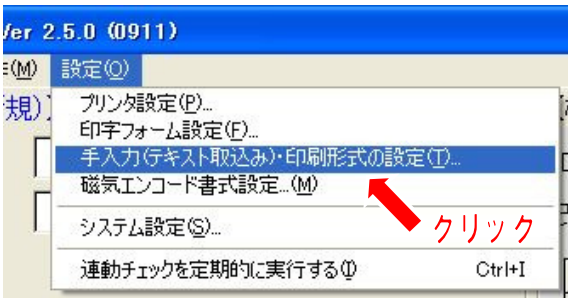
■参考■
固定項目の見出しに置換文字を使用することで
発行当日の年月日を参照することが出来ます。
例:見出しに「調剤日:**@yy@/@mm@/@dd@**」と
設定すると、見出しの内容が「調剤日:05/11/14」
と変換して印字されます。

置換文字	置換内容	置換例
@yyyy@	西暦 4 桁	2004 年 = 2004
@yy@	西暦 2 桁	2004 年 = 04
@ggg@	元号(日本語)	平成 = 平成
@gg@	元号(日本語 1 文字)	平成 = 平
@g@	元号(アルファベット 1 文字)	平成 = H
@ee@	和暦 2 桁	5 年 = 05
@e@	和暦 1～2 桁	5 年 = 5
@mm@	月 2 桁	3 月 = 03
@m@	月 1～2 桁	3 月 = 3
@dd@	日 2 桁	8 日 = 08
@d@	日 1～2 桁	8 日 = 8

5. 手入力での発行

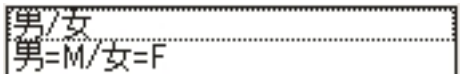
1. 設定

・設定(O) → 手入力(テキスト取り込み)・印字形式の設定(T)



性別 ・ 生年月日 ・ バーコードの印字形式を選択します。

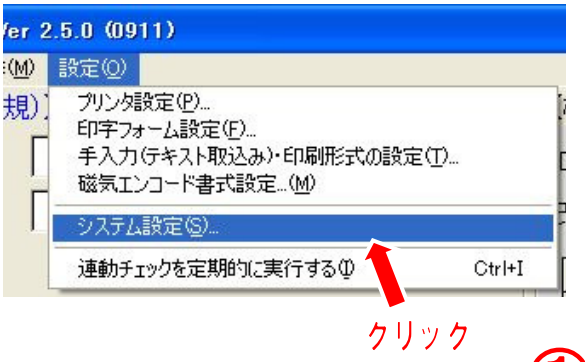
(性別) 男 ・ 女 or M ・ F

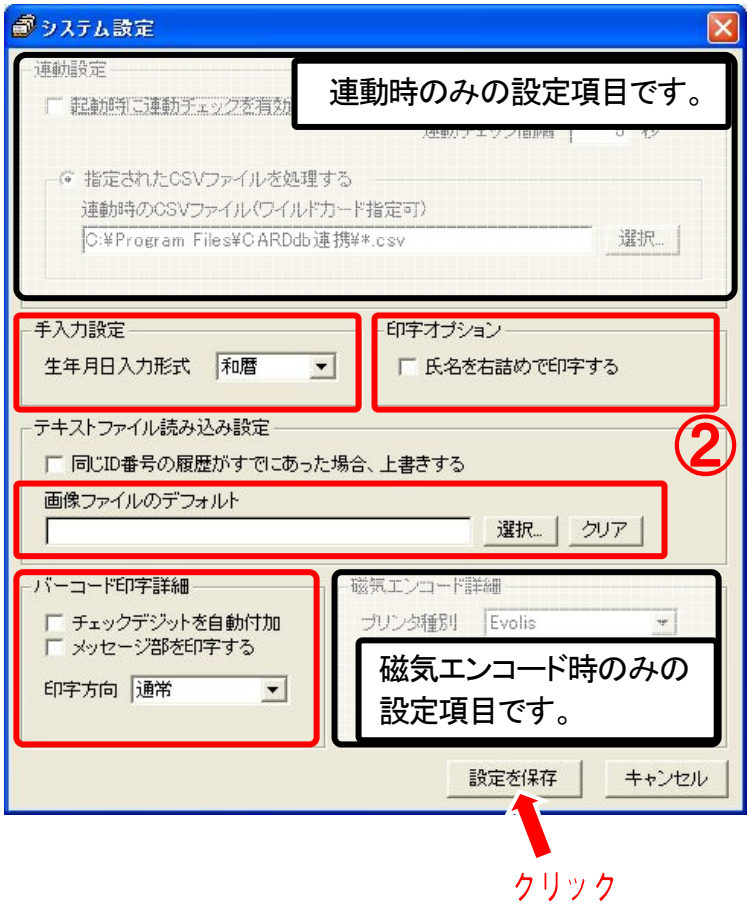


(生年月日) 西暦 ・ 和暦から選択

(バーコード) 各形式から選択

・ 設定(O) → システム設定(S)





① 生年月日入力形式

西暦での入力か

和暦での入力かを選択

② 印字オプション

氏名を右詰で印字する

場合はチェック

(標準は左詰です。)

③ 画像ファイルのデフォルト

固定の画像を印刷する場合のみファイルを指定。

全てのカードに、決まった固定の画像を入れたい場合は、

ここで選択しておきます。全てのカードの固定位置へ、ここで選択した画像が印刷されます。

※テキストと重なった場合は、ここで選択した画像が印刷されます。

※カード毎に可変画像を入替えたい場合は、メインの入力画面で各々選択する必要があります。

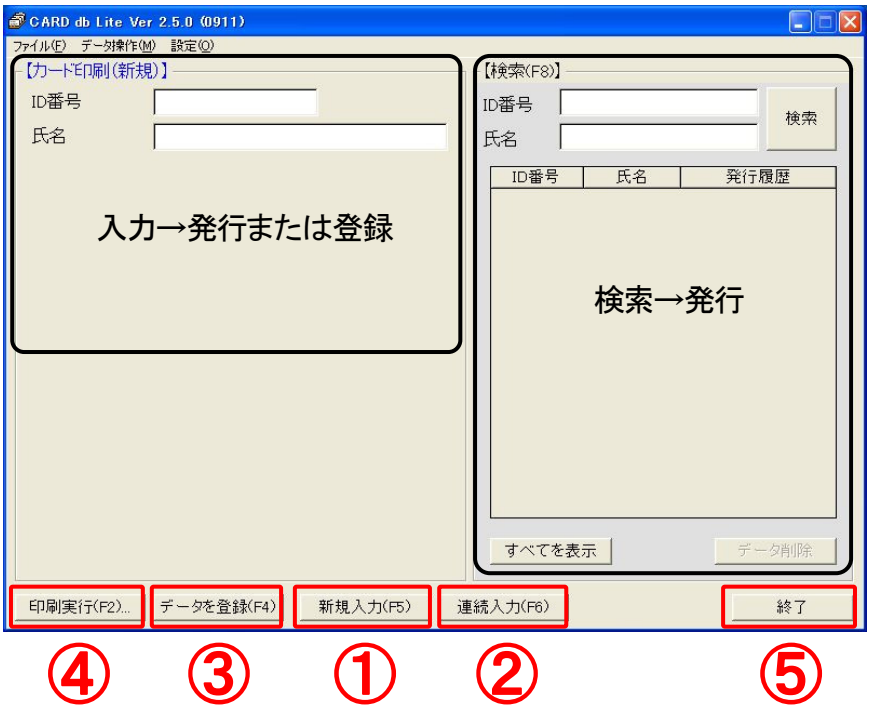
④ バーコードの印字詳細 (対応形式: JAN-13 NW-7 CODE-39 他)

バーコードの CD ・ 値印字 ・ 印刷角度調整の設定が出来ます。

5. 手入力での発行

2. 発行操作

●メイン画面の概要



① 新規入力 ： 入力時に即時カード発行する場合 （F5キー）
② 連続入力 ： カード発行をせずデータ入力 → 連続登録のみする場合 （F6キー）
③ データを登録 ： カード発行をせず登録のみ行います （F4キー）
④ 印刷実行 ： カード発行を行います （F2キー）
⑤ 終了 ： プログラムを終了します。

●カーソル移動の説明

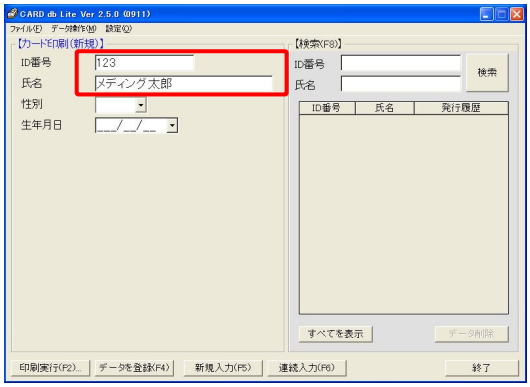
マウス操作をできるだけ省いて、キーボード ・ テンキーだけで操作できる様に
設計されています。
便利なキーボードの使い方と、ショートカットキーについて説明します。

・ カーソルを次の項目に移動したい場合
「リターン」または「Tab」キーで移動します。
・ カーソルを前の項目へ戻したい場合
「Shift＋Tab」キーで移動します。
・ 入力画面の「ID番号」へカーソルを移動したい場合【重要！】
「新規入力（F5）」または「連続入力（F6）」キーで、入力可能となります。
・ 検索画面の「ID番号」へカーソルを移動したい場合【重要！】
「検索（F8）」キーで、移動入力可能となります。

●項目の手動入力→発行の仕方

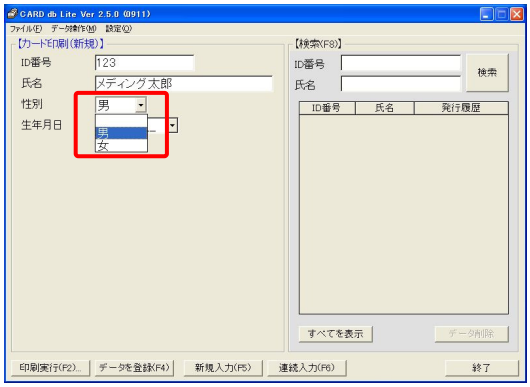
新たに入力→(カード発行 ・ 登録)する場合の操作について説明します。

・ F5キーで新規入力(またはF6で連続入力)を開始します。
ID番号を入力しリターンキーを押すと氏名の入力に移ります。
同様に氏名を入力しリターンキーを押します。

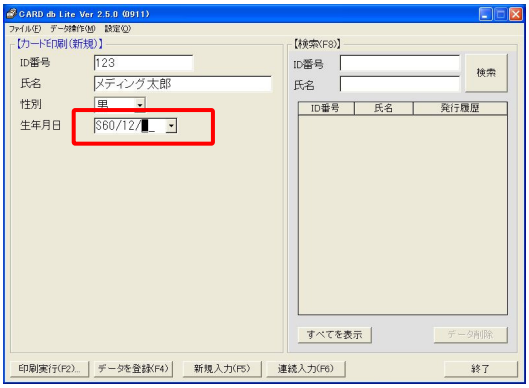


※新規入力の際に既存のIDと同じIDを指定すると
「すでに同じIDの履歴があります。新しい内容で置き換えますか？」
と表示され、「はい」を選ぶとそのIDの古い履歴は消え、
新しい履歴が残るようになります。「いいえ」を選んだ場合は履歴の
内容は変わらず、入力画面はクリアされます。

・ 性別は、矢印キー「↓」「↑」で男女を選択し、リターンキーで
確定してください。



・ 和暦の場合、「M・T・S・H」のアルファベットに続いて年月日を
数字で入力してリターンキーで確定してください。
西暦の場合は、数字４桁で年を入力し、月日を数字で入力し、
リターンキーで確定してください。
※年月日として間違った入力は出来ないようになっています。
マウスのクリックでカレンダーから選択することもできます。



・ 全ての項目が入力されますと、新規入力の場合は「印刷実行」、
連続入力の場合は「データを登録」のボタンへカーソルが移動します。
その後リターンキーを押すと印刷の確認のウィンドウが
開きますのでリターンキーを押すと発行されます。
(連続入力の場合は、リターンキーを押すと右の履歴欄に登録されます。)

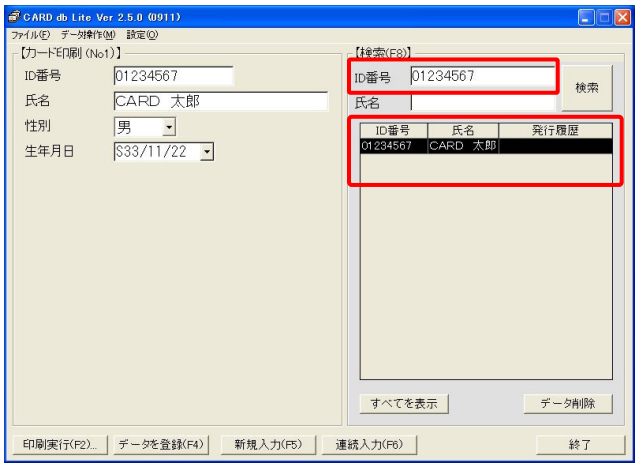
5. 手入力での発行

●検索→発行の仕方

検索は「F8キー」で右画面検索の、ID番号へカーソルが移動します。

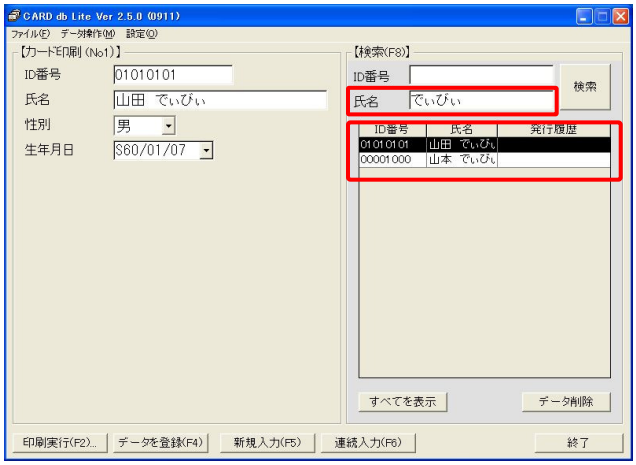
・ID番号からの検索

ID番号を入力後、リターンキーを２回押すか、
「検索ボタン」をクリックしてください。
該当者が下画面と、左入力画面に表示されますので、
確認後リターンキーを押すと、印刷実行にカーソルが
移動します。
※ID番号検索は、完全一致でないと表示されません。
該当無しの場合、「F8キー」で戻ってください。



・氏名からの検索

氏名検索は、ID番号の枠でそのままリターンキーを
押します。カーソルが氏名へ移動しますので、
検索したい氏名を入力してください。
氏名検索は、部分一致でも全て検索されますので、
入力はフルネームでなくてもかまいません。
該当者が下画面に表示されますので、「↓」「↑」
矢印キーで選択後、リターンキーを押しますと、
印刷実行にカーソルが移動します。



「印刷実行」または「F2キー」で印刷が開始されます。
印刷が終了しますと、「発行履歴」に発行した年月日が表示されます。
再発行等の場合には、発行履歴も参考にしてください。

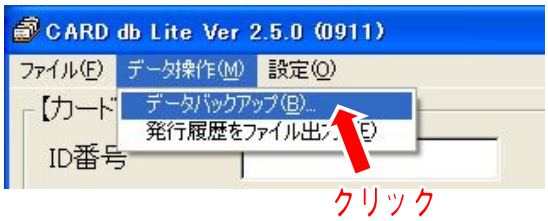
●その他の機能(データ操作)

・データバックアップ

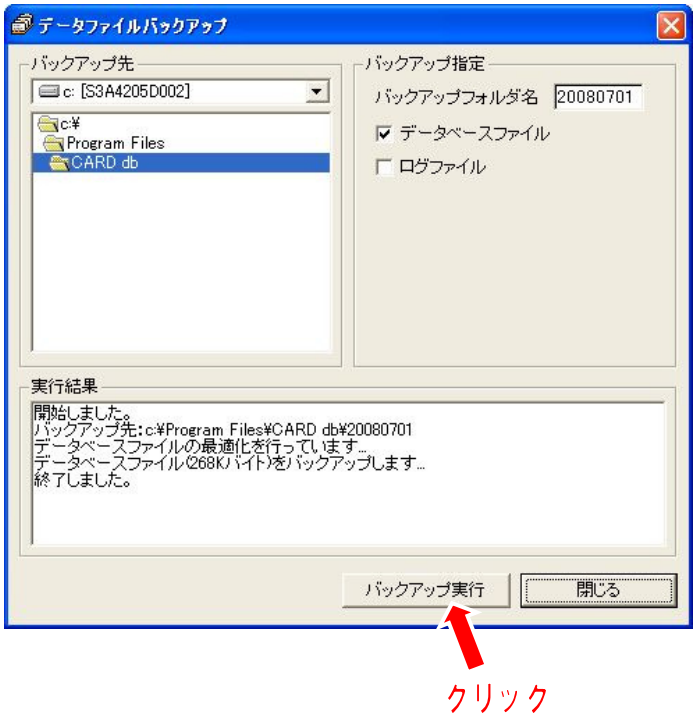
データ操作(M)

→データバックアップ(B)

バックアップフォルダ名を設定し、
そのフォルダにデータファイルを
バックアップします。

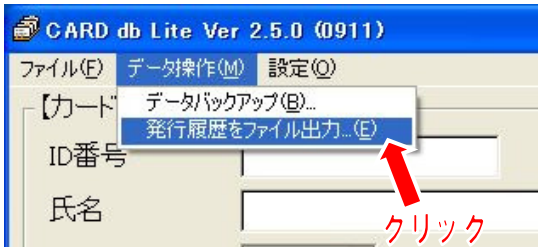


バックアップしたデータファイルを
インストールフォルダに上書きすることで
データを復元できます。



・発行履歴をファイル出力

データ操作(M)→発行履歴をファイル出力(E)



発行した履歴をテキストファイルに出力することができます。

6. 日医標準レセプトソフトとの連動

1. 概要

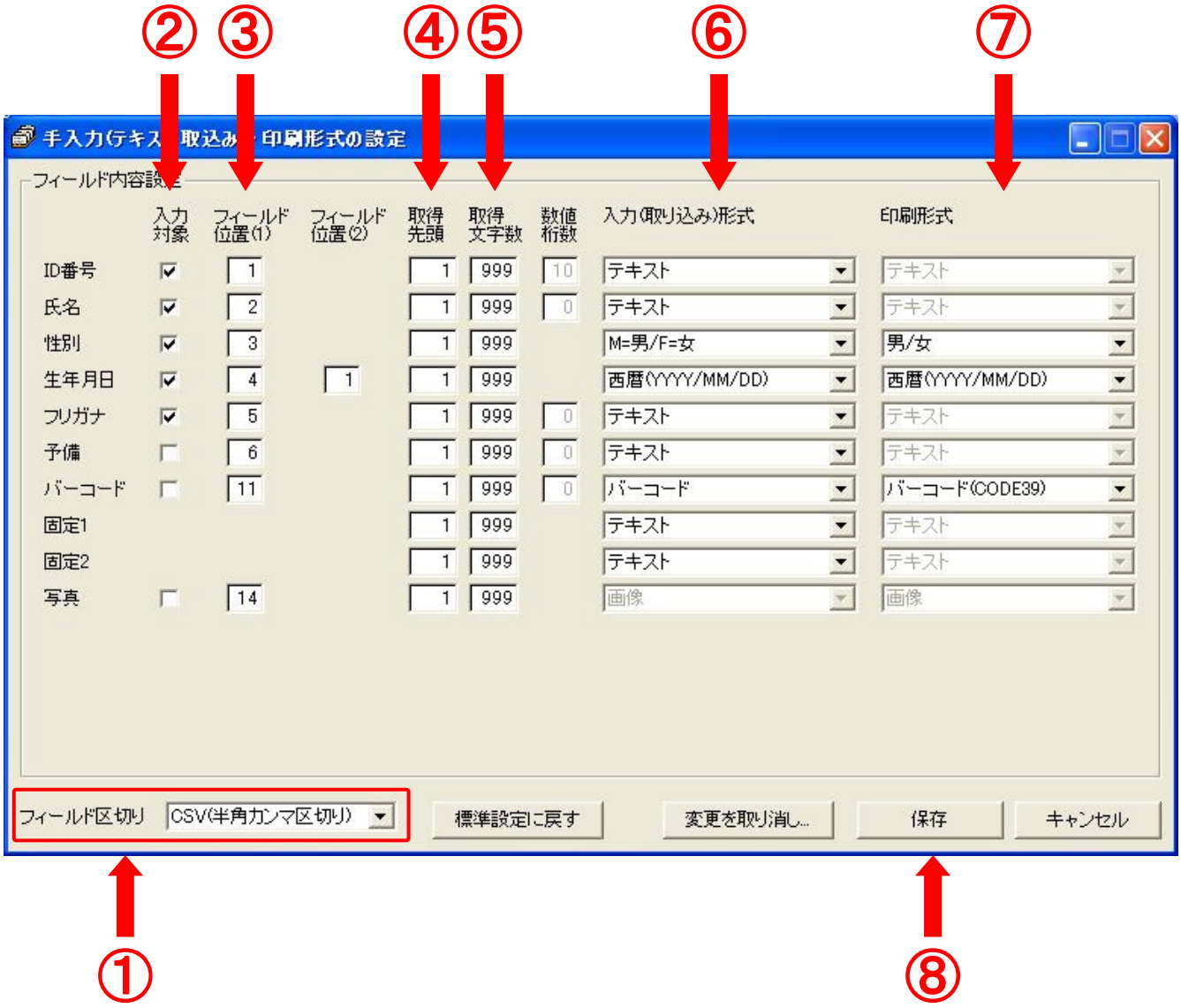
CARDdbLite は、CARDdb 連携プログラムと連動することで日医標準レセプトソフト（以下、日レセ）から出力された CSV ファイルを読み込み自動的にカード発行を行うことができます。

※ 日レセへの設定は CARDdb 連携プログラムで行います。CARDdb 連携プログラムの設定については「CARDdb連携プログラム取扱説明書」をご覧ください。

2. 設定

重要！ CARDdb連携プログラムと連動する場合は、変更の必要はありません。
標準設定のままで動作します。

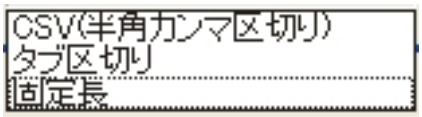
・ 設定（O）→手入力（テキスト取込み） ・ 印刷形式の設定（T）



① フィールド区切り

テキスト取り込みの際のファイル形式を選択します。

固定長とした場合、取得先頭 ・ 取得文字数でフィールドの区切りを設定します。



② 入力対象

ここにチェックされた項目のみが、テキスト取り込み可能となります。

③ フィールド位置

テキスト取り込みの際の、テキストの配列順です。

④ 取得先頭

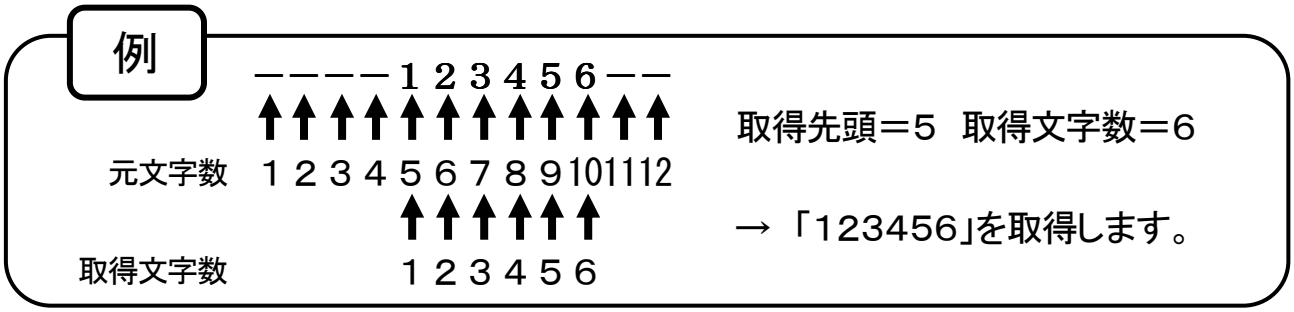
指定することで任意の位置の文字のみを取り込むことができます。

※フィールド区切りを「固定長」とした場合、テキストの先頭から取り込む項目の先頭までを数えた値を入力します。

⑤ 取得文字数

指定することで任意の位置の文字のみを取り込むことができます。

※フィールド区切りを「固定長」とした場合、取り込む項目に用意されている文字数を入力します。



⑥ 入力取り込み形式

テキスト取り込みの際、性別 ・ 生年月日の形式や数値の桁数等を選択加工できます。

●「数値（ゼロ削除）」を選択すると、左側のゼロが削除されます。

例（000023→23）

●「数値（ゼロ詰め）」を選択すると、「数値桁数」で指定された桁数になるよう左側にゼロが挿入されます。

例（23→000023）

●「テキスト」を選択した場合は、元データをそのまま取り込みます。

⑦ 印刷形式

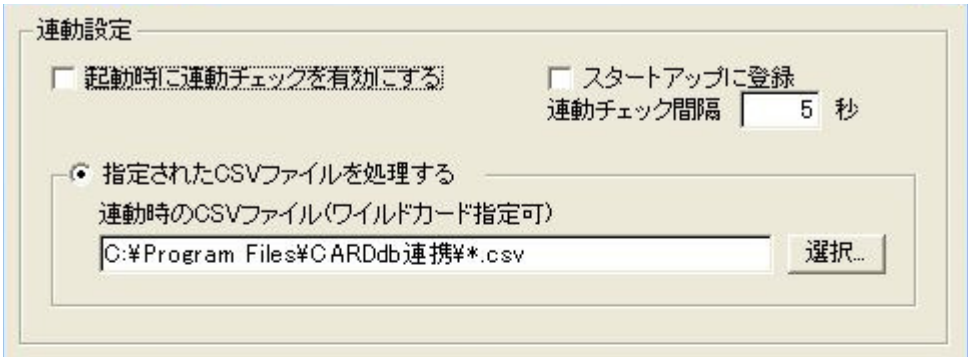
印刷の際、性別 ・ 生年月日 ・ バーコードの形式を各種選択できます。

⑧ 保存

設定した内容を確定します。

6. 日医標準レセプトソフトとの連動

・ 設定(O)→システム設定(S) （以下の部分以外はP. 9をご参照ください。）



●起動時に連動チェックを有効にする

CARDdbLite を起動した時に連動チェックを有効にします。

CARDdb 連携プログラムとの連動の場合は必ずチェックして下さい。

●スタートアップに登録

Windows 起動時に CARDdbLite を同時に起動たい場合にチェックして下さい。

チェックを外した場合にはスタートアップへの登録が解除されます。

連動の場合、チェックすることをお薦めします。

CARDdbLite がスタートアップへ登録された場合、次回 Windows 起動時からは最小化されて起動します。

●連動チェック間隔

指定フォルダまたはファイルを自動確認するタイミング指定。【初期値は 5 秒】

●指定された CSV ファイルを処理する

フォルダ内にほかのテキストファイルが存在する場合、

テキストファイル名を指定して処理します。

ワイルドカード(例 ： C:￥取り込みフォルダ￥＊. ＊)の使用も可能です。

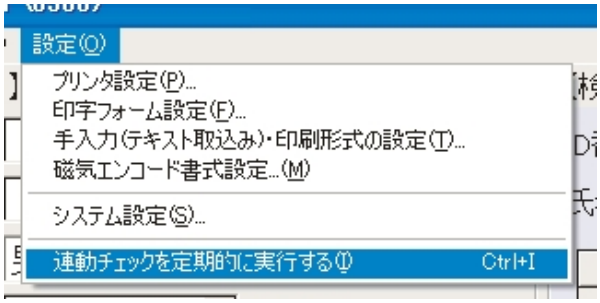
重要！ 初期値は CARDdb 連携プログラムのデータ書き出し先に設定されています。

CARDdb 連携プログラムで連動する際には変更の必要はありません。

・ その他の設定

●連動チェックを定期的に実行する

チェックが入っていることを確認してください。



7. 磁気エンコード設定

使用するカードプリンタが、磁気エンコード機能付モデルの場合のみ、
CARD db Lite にて磁気書き込みを行うことができます。
手順は以下のとおりです。

①エンコードの設定 ➡ ②磁気エンコード書式設定 ➡ ③磁気カードへの書き込み

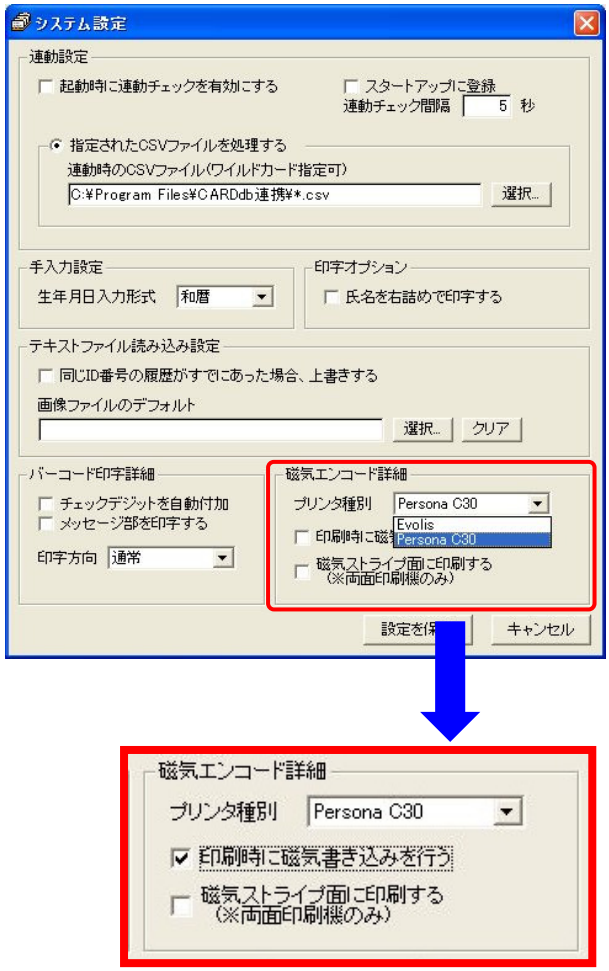
① エンコードの設定

●設定(O)→システム設定(S)→磁気エンコード詳細
「プリンタ種別」から接続している磁気エンコード対応プリンタを選択して下さい。

※選択後は設定を保存し CARDdbLite を一度、再起動する必要があります。

「印刷時に磁気書き込みを行う」にチェックを入れることで、印刷と同時に磁気の書き込みを行います。
磁気書き込みのある連動時は、チェックして下さい。

※両面印刷対応機(C30eD)をご利用の場合は、
「磁気ストライプ面に印刷する」にチェックを入れることで、磁気ストライプ側の面に印字を行うことができます。

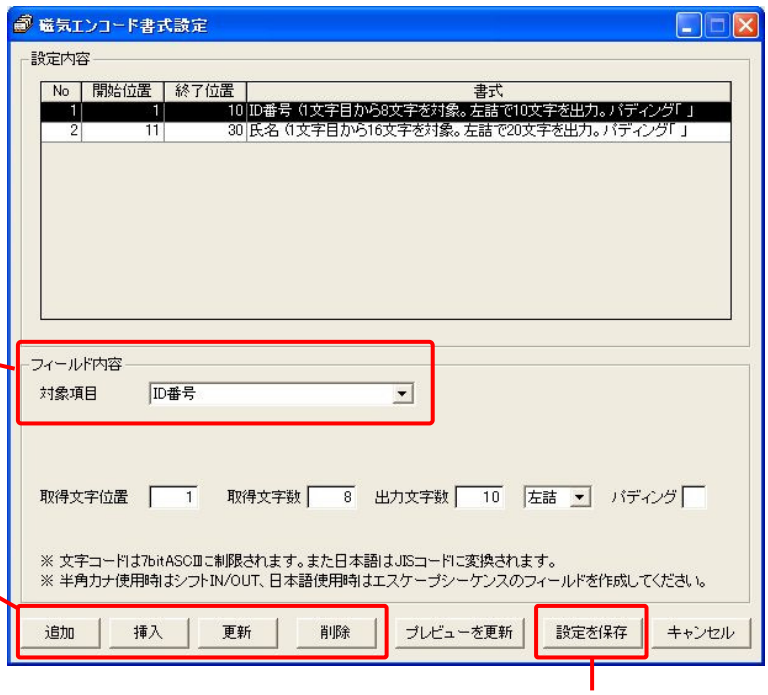


② 磁気エンコード書式設定

●設定(O)→磁気エンコード書式設定(M)
磁気カードへの書き込みの設定を行います。

エンコードする項目を選びます。
(ID番号・氏名・性別・生年月日・
予備1～6・固定文字列・文字コード)
が選択可能です。

編集したフィールドの内容を、
(追加・挿入・更新・削除)します。

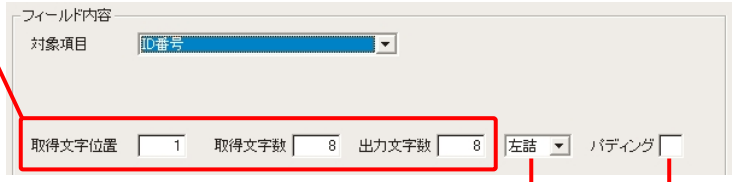


編集した内容を保存して設定を終了します。

・ 対象項目が(ID番号・氏名・予備1～6)の場合

取得を開始する文字の位置、取得する文字数、出力する文字数を
入力します。(取得文字数≦出力文字数です。)

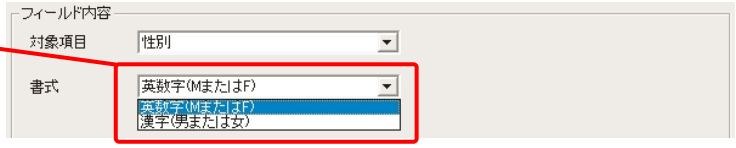
※取得文字数<出力文字数の場合
空白部分ができますので、



左詰 or 右詰を選択してください。
空白部分に入れる半角文字を入力してください。

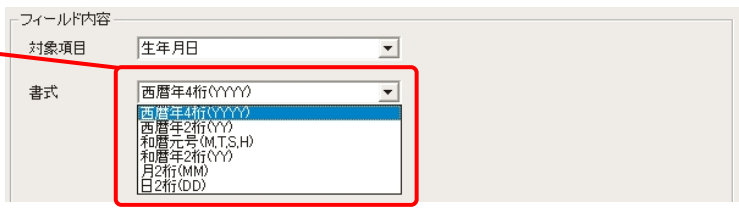
・ 対象項目が(性別)の場合

書式を選択してください。
英数字(MまたはF)
もしくは漢字(男または女)となります。



・ 対象項目が(生年月日)の場合

書式を選択してください。
年の部分は西暦4桁YYYY(例 1976)、
西暦2桁YY(例 76)、和暦元号(M,T,S,H)
和暦2桁YY(例 51) となります。



7. 磁気エンコード設定

磁気エンコード　カナ ・ 漢字エンコード　基本ルール

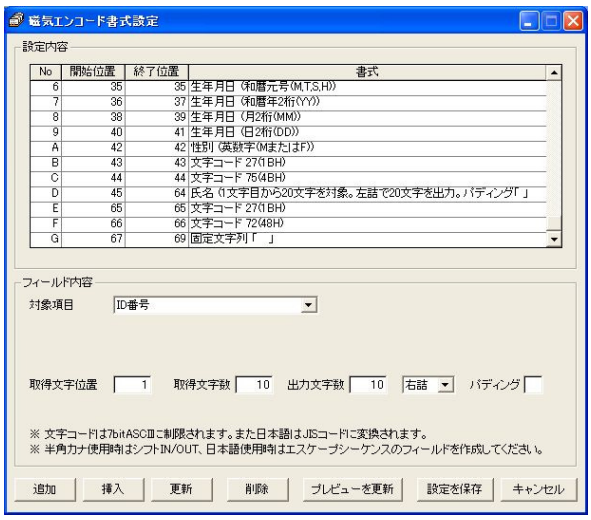
- 元データは通常の連動用 TXT ファイルから取得する
- 磁気ストライプにエンコードする内容を磁気エンコード書式設定する
- 半角カナ文字＆全角日本語文字（かな・漢字）の書き込みは JIS Ⅱ 仕様に準拠する

日本語（かな、カタカナ、漢字）の設定コード

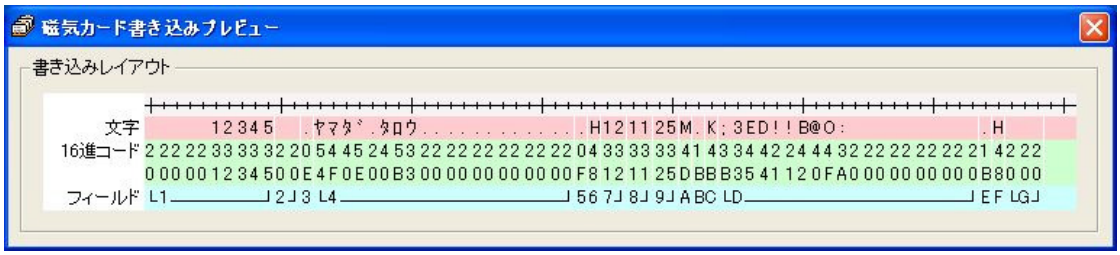
① 半角カタカナの場合	
スタートコード	SO（文字コード14（0E　H））
エンドコード	SI（文字コード15（0F　H））

② 全角日本語文字（かな・漢字）の場合	
スタートコード 1	（文字コード27（1B　H））
コード 2	（文字コード75（4B　H））
エンドコード 1	（文字コード27（1B　H））
コード 2	（文字コード72（48　H））

磁気エンコード設定　例



磁気エンコード設定後　プレビュー　例



③ 磁気カードへの書き込み

P. 18 システム設定→磁気エンコード詳細で、チェックが入っている場合、
印刷実行を行うと同時に磁気書き込みが行われます

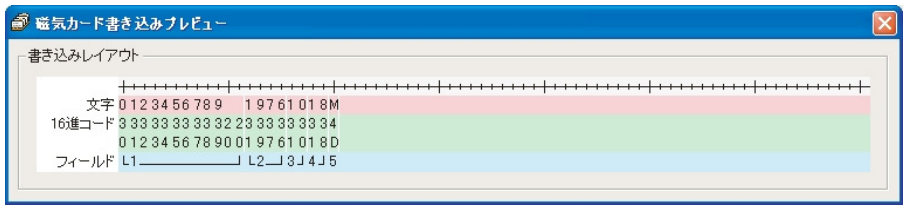
●ファイル(F)→磁気カード書き込み(M)

磁気カードへの書き込みを行います。(カードへの印刷は行われません。)

●ファイル(F)→磁気カードプレビュー(W)

磁気書き込みのプレビューを見ることができます。

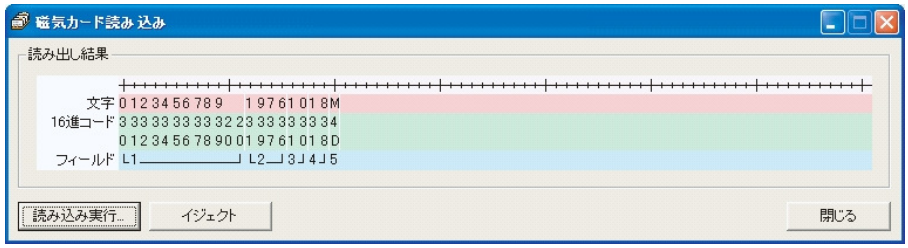
エンコード書式の設定を変更した場合、書き込みの前にレイアウトを確認できます。



●ファイル(F)→磁気カード読み込み(R)

書き込みされた磁気カードを、読み込むことができます。

※対応機は現在ございません。



CARDdb
お問い合せ先

株式会社 メディング

営業所 ／ 札幌・東北・東京・名古屋
金沢・関西・四国・広島・九州

システム課
E-mail:card-01@meding.co.jp
TEL:088-692-5111 FAX:088-692-7333
771-1289 徳島県板野郡藍住町住吉字神蔵5-1 （本社）
URL:http://www.meding.jp